東京メトロの 水害対策

お客様の生命を守り、東京の都市機能を維持するために

東京メトロでは、お客様の安全を第一に、水害発生時の避難誘導等について体制を整えています。それとともに、過去の水害や浸水被害をもとに浸水対策の整備を進めて参りましたが、これらに加え、行政機関による最新の被害想定に基づいて、荒川氾濫を想定した水害への備えを進めています。

東京メトロ

荒川氾濫のおそれのある際には、東京メトロでは、

情報提供
最新の気象情報に加え、計画運休実施時には速やかに情報提供を行います。

→

計画運休の実施
全線で運転を見合わせ、営業を休止し、駅の浸水防止処置を行います。

→

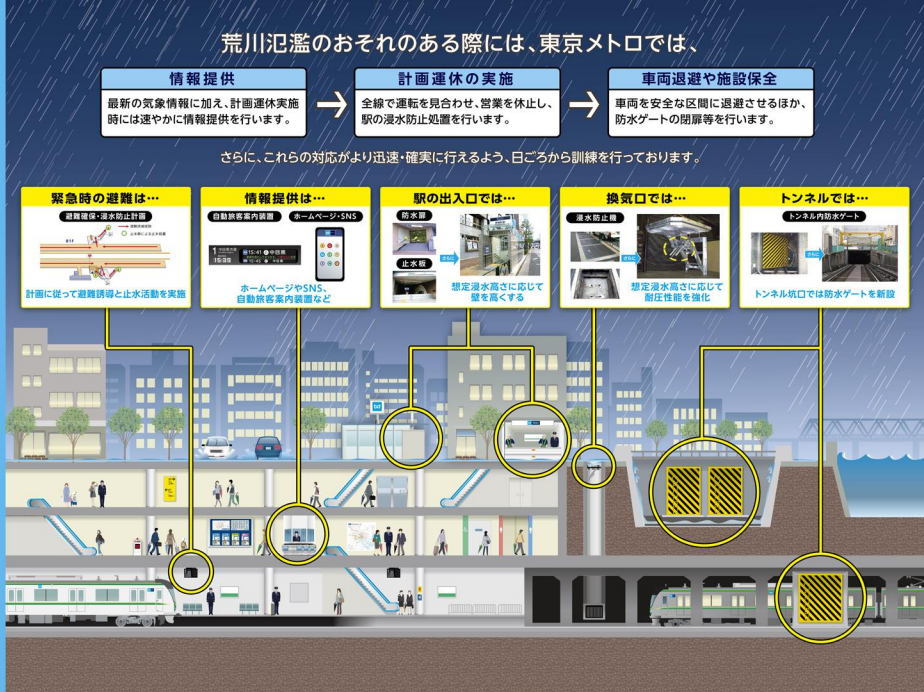
車両退避や施設保全
車両を安全な区間に退避させるほか、防水ゲートの閉扉等を行います。

さらに、これらの対応がより迅速・確実に行えるよう、日ごろから訓練を行っております。

緊急時の避難は…
避難確保・浸水防止計画
計画に従って避難誘導と止水活動を実施

情報提供は…
自動旅客案内装置　ホームページ・SNS
ホームページやSNS、自動旅客案内装置など

駅の出入口では…
防水扉　止水板
想定浸水高さに応じて壁を高くする

換気口では…
浸水防止機
想定浸水高さに応じて耐圧性能を強化

トンネルでは…
トンネル内防水ゲート
トンネル坑口では防水ゲートを新設